

# 禁断のオーバーフェンダーを市販用 ボルトオンタイプに作り直すぞ



OPT2高速PRESS号と普通のワゴン&セダン。比べただけでも、いかに改造するのが楽しいか、わかるね。マッキーもご満悦で願ってる。



## ベース車の OPT2高速 PRESS号って こんなワゴンだ!

「フツのワゴンじゃつまらない。速くて、カッコ良くて、ダートから高速道路、サーキットどこでも走れる夢のようなクルマを作りたい。バリタカのプロトタイプ・バジエロなんかカッコいいね」  
こんな発想で改造したのが、このOP

この角度から見ると、OPT2号のリヤビューがよくわかる。ワゴン部のガラスがなく、ノッチバックみたく、リヤピラーがRVのロールバーみだいなムードだ。



室内も、レカロ・ジェットセッター・ステアリングやブリッドのシート、ブリッツの補助メーターなどでバッチリ。もちろん、PRESSとしてどこでも取材するのでソニーのカーナビは欠かせない。

マッキーに「リヤはどうしてもドアと干渉するので、思い切ってこんな具合にして…」とアドバイスする城岡社長。



しむという、昔っからの改造車作りの魂も復活させたいね」なんてトントモナイコトをいう。  
OPT2インプレッサはワゴンだけでなく、市販用オフフェンならセダンにも流用できるし、かなりスポーツ度がアップすることウケアイだ。  
「うちはこのオフフェンを使って、ワゴンのまま草レース仕様を作りたいと思うとるんや。足まわりもバッチリ決めてやれば、オモロイやろな。ボルボワゴンもイギリスのツーリングカーレースに出ているというし、これからはワゴン・チューンの時代やで」とマッキー・牧原もへんに意欲を燃やす。  
ま、読者のみんなも変わりダネの企画として、ちょっと付き合っってチョーダイよ。



不定期連載  
第1回

SPLインプレッサ・スポーツワゴンの  
ノウハウをストリートに生かす

# 突然のOPTION2 高速PRESS号誕生



製作してくれるシロマの顧問社長(左)、タカ  
プロダクツの山下社長(右)と相談するDaiと  
マッキー。



ブルーアス(マガジンハウス刊)のWAGON'  
S'(定価550円)で16ページも特集されたんだ  
ぞ。

「OPT2号のフロントはバンパーの下まで固  
り込んでいるけど、ノーマルバンパーに合わ  
せるなら、こんなラインかな」とDaiとマッキー。



オーバーフェンダー、俺たちマニアにはなんとも快い響きだ。通称オバフェンには、ツーリングカーレースの熱気、ボディ改造の過激度、ぶっというタイヤを履くためのパワフルさ、スピードなど、あらゆる要素を象徴する響きがある。

突然ですが、このインプレッサ・ワゴン  
OPT2がブルーアス臨時増刊の“WAGON'  
S”という雑誌で発表したスペシャルワゴン  
です。どちらかという、「Daiの夢のワゴン  
を作る」という企画でスタートしたわけ  
ですが、せっかく作ったんなら、OPT2流に料理  
しようということに決定。で、このぶっとい  
オーバーフェンダーを市販用にモディファイ  
してみようとあいなったわけです。しかし、  
オバフェンというのは、車幅問題があっ  
て、製品としては売りにくい、という声  
が多く、市販化の道は険しいわけですが、  
「過激路線は好きや、うちに作らせて！」  
と名乗りを上げたのが、関西はトライ  
アルのマッキー牧原。ホント、このオヤ  
ジ、変わったことが好きですな～

なにしろオバフェンひとつで、フツ  
ーのクルマがダイナミックに変身する  
のだから、エアスポイラーなんかより  
効果的なドレスアップ術といっても  
い過ぎじゃない。

しかし、オバフェンには車幅変更の  
問題があり、車両運送法を守るなら、  
ちゃんと車検を受け直して、寸法の記  
載変更を受けなければならず、これを  
無視していると違法改造になるため、  
ショップレベルで製品化するには、ど  
うしても、車幅に影響しないくらい  
やつをオバフェン風に張りつけるしか  
ない。これじゃ迫力も乏しいし、みん  
な苦労しながらオバフェン風を追求し  
ているのが現状だ。

OPT2が製作したSPLインプレ  
ッサワゴンのオバフェンはワンオフモ  
デルとして車検を取るから、かなり過  
激に広げている。しかし、ここまでや  
ると極端すぎるかな。

で、ちゃんとしたオバフェンの機能  
を持たしたままで、どのくらいが市販  
製品として限界か、を作りながら探っ  
てみようというわけだ。

Daiにいわせれば、「おまわりさん  
に捕まっても、口でごまかせるくらい  
で、しかも簡単に取り外せるのがい  
い。本来ならちゃんと記載変更すれば  
問題ないんだけど、法の目を潜って楽



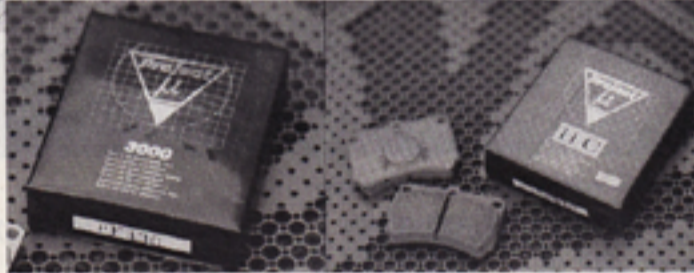
# HKS関西サービス発

〒632-01 奈良県奈良山辺郡都★小倉1100-3  
☎07438-4-0171

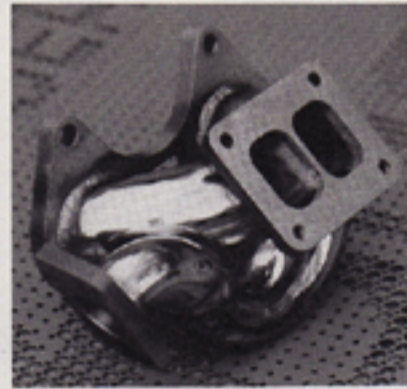
営業時間 10:00~19:30  
定休日 木曜日、第2水曜日



FC3S用(前期)  
スポーツタービンキット  
(TO4Eアクチュエーター仕様、取付説明書付き、新品) 15万円

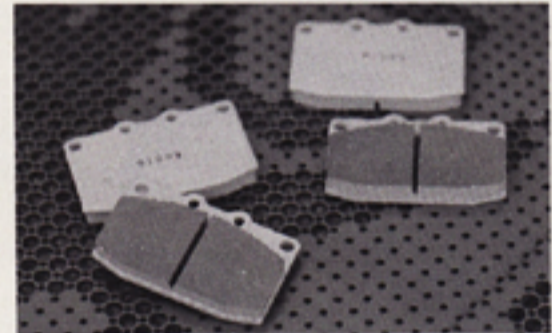


BNR32/HCR32/Z32用 プロジェクトμブレーキパッド(HC)  
フロント 1セット 1万円 リヤ 2セット 1万円  
CD(E)9A用 プロジェクトμブレーキパッド(HC)  
フロント 1セット 1万円 リヤ 1セット 1万円  
BFMR/BG6R/BG6Z用 プロジェクトμ3000  
フロント 1セット 1万円



FD3S用 ステンEXマニ  
(TO4E・TO4S・TD07対応、新品)  
6万円

【メッセージ】  
今回はHXRオーナーの人ならヨダシの出そうなパーツを揃えたよ。もちろん取り付けも行ってから(有料)ぜひ遊びにきてちょうだいな。  
①現金書留でお支払い◎宅配便



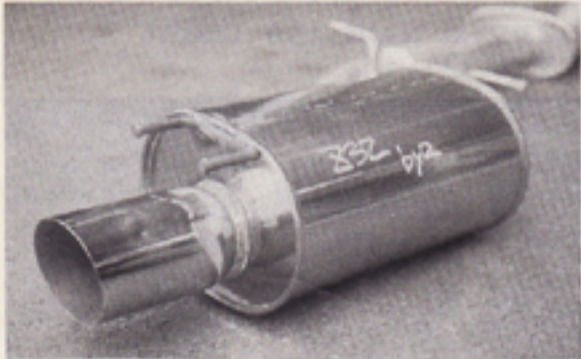
FC3S/FD3S用 イマージュブレーキパッド  
フロント 2セット 1万円

## トリアル南大阪店発

〒591 大阪府堺市八下町4丁102-9  
☎0722-54-7039

営業時間 10:00~20:00 日祝日11:00~19:00  
定休日 水曜日

Z32用(ターボ、2シーター) アベックスマフラー(中古)  
1台分 3755000円



'95 1月  
OP2



GT-R用  
HKSパワーフロー(中古)  
1セット 1万円

【メッセージ】  
今回はOPT2の読者に出血大サービスや。そや、アティダスと共同開発したスーパースニーカーもよろしくたのんますわあー。  
①現金書留でお支払い◎



GT-R用 ストラットバー フロント  
2台分 3000円 リヤ 1台分 3000円



# 九州もんの気合を 見せちゃるぜ!! OPT2 0-300m大会! 九州めぜにヨシ野郎達は エキサイティングだったぜ!



総エントリー数68台(うち出走37台)  
九州でいっちゃんはえ~のは誰だ?!

気合はじゆうふん!  
オレがいつちゃん  
速かつちえー!!

大感車祭のメインイベント!?  
として行われたゼロサン(0-300m)は68台のマシンが集合した。ま、ドリフトは、今や絶ちよりのブームだけど、そんな時期だからこそ、ゼロサンにエントリーしてくるヤツにハンパなヤツアいないぜ。根っからのストリートゼロヨンファイターばかりだ。持ち込んだクルマこそ限りなくノーマルに近いKカーからバキバキフルチューンのGT-Rまで、さまざまだけど、スピリッツはホンモノなのだ。

阿蘇の雄大な自然の中で、みな

さんの熱きバトル、しっかり見させてもらいましたよ!  
今回はレーシングパークのホームストレートを逆走するかつこうでゼロサンが行われた。2台並んでスタートするストリートゼロヨンスタイルのバトルなんだけど、勝敗は着順じゃなくて光電管を使ったタイム計測による、というなんともホンモノチックなゼロサン大会となったのであった。

最初の練習走行から、いきなり

全開でぶつとんで行く人もいるし、とりあえず愛車とコースのようすを見る感じで流す人もいる。ひとつおりの練習が終わっていいよ本番となった。

Aクラス(Kカー)からB(1000cc)〜I(3000cc)、C(1300cc)〜I(600cc)、D(1600cc)〜I(2000cc)、Eクラス(2000cc以上)とスケジュールは順調に進んでいく。クラッシュもトラブルもなく、あまりに順調すぎる。

0.09秒差で2位に甘んじてしまった自標「九州1」ゼロヨン男&マシン、大谷学さん、開口一番「くやしー!」

ふだりの熱い走り、みんなをホカホカにする。

オーバーオールはこの人! ゼニタニチューンのGT-Rで大坂から遠征してきた渡辺博司くん(17歳だからサンと称ぶのが正しいか)。「350万円かけたエンジンに腕がついていきません。これからはクルマを磨くばかりでなく、腕も磨きまーす」

川崎哲哉選手VSニヤ倉選手みんなのお手本バトルを見せる!

テモンストレージョンランのため用意された「ヴェイルサイドエポリューションR」と「メインスGTR」がゆっくりとスタートラインに揃く。ドライバーはエポリューションRがOPTビデオでおなじみ、テツちゃん。こと川崎哲哉選手、メインスGTRはオーナーである「ニヤ倉クラソー」と新倉社長だ。「あくまでも、みんなのお手本になればいいですから、加者運なのだ」。

RE雨宮・雨さん賞

はつきり言って雨さんはこのナンバープレートが気に入ってしまったのだ。ピンクのメタリックにロンシャンが決まっている宮崎ワンのマシンだ。

OPTマシンコンテスト!  
雨さん、マッキー、Daiが選ぶ!  
カッチョイイ~、マシンはこれだ!  
九州は意外とみんな、おどろしい仕様に乗ってます!

審査員は雨さん、マッキー、Daiの3人。関東代表、関西代表、OPT代表つてわけだ。でも、この3人はクセが強いだけに、どんな審査になるのかちょっと心配だぜ!

OPT賞!

秋元さんのGTOはエアロでキメキメのマシン。ヘッドランプの中も白いんだぜ。ボンネットをちよつと浮かしたりして、細かい芸も効いている。

OPT賞!

これもイカスでちゅ~!

OPT賞!

キレイにしているネ!

OPT賞!

秋元さんのGTOは全体的にソツなくまとめているね。エンジンルームの下にスマツンにも気を配っている。

0-300m RESULTS

クラス	順位	タイム	ドライバー
Aクラス	1	0:28.1	大谷学
	2	0:28.2	川崎哲哉
	3	0:28.3	渡辺博司
	4	0:28.4	雨宮
	5	0:28.5	マッキー
	6	0:28.6	Dai
	7	0:28.7	秋元
	8	0:28.8	...
	9	0:28.9	...
	10	0:29.0	...
Bクラス	1	0:30.1	...
	2	0:30.2	...
	3	0:30.3	...
	4	0:30.4	...
	5	0:30.5	...
	6	0:30.6	...
	7	0:30.7	...
	8	0:30.8	...
	9	0:30.9	...
	10	0:31.0	...

0-300m大会に賞品をこぼれさせていたなりました。ありがとうございます。  
●タイリースコープレーション ●トラス  
●HKS ●HKSマフラー ●アリゲーター  
●トリアール ●マツダマフラー  
●HKS ●マフラー  
●ソリテックジュストロロフインターナショナル



わたしの愛車自慢スペシャル!

次は本格的な  
レースにチャレンジャー!  
天性の素質は、  
マツキーのお墨付きヨ



走り屋は細かいところでも神経を配う。TOMEIのベダルセットなんかもそのひとつ。ハツタリならここまでやらないもんね。

コテコテにフルチューンされたCA18DEはけっこう迷いらしい。二スモのフラッチは、めっちゃめっちゃ重いんだけど、平気でつか?



サーキットをこよなく愛する  
走り屋ギャル  
古谷佳子ちゃん(28歳)  
大阪府宝塚市  
シルビアQ's(S13)



取材協力 トライアル



来シーズンからT1のロードスターレースに参戦することがほぼ決まり。ガンバレ!

**負けず嫌いのわたしをあおらないでネ**  
「ウチの走行会に来るコで速いコがおんねん。今度ウチからT1のロードスターレースに出したろかなと思てんねんでえ」とマツキーも太鼓判を押すほどの走り屋ギャル、古谷佳子ちゃんだ。チューニングスベックを全部並べるスペースがあれば、彼女のクルマがどのくらい気合の入ったものかわかるんだけど、残念ながらスペースがないので、仕様をひとことというなら「これ以上チューンするならキヤブにするとか排気量アップす

- ☆TUNING DATA
- ・HKSピストン
  - ・HKSコンカム(264度)
  - ・JUN's軽量フライホイール
  - ・KSロム
  - ・TOMEIサスキット
  - ・arcピロテンション
  - ほかコテコテ



タイヤは当然セミレーシング。BS520 Sの(F)205/50-15(R)205/60-15を履く。フロントが異様に小さいのは50だからだよ。



セーフティ21の7点式ロールバーを付けて置くとなつた分をリヤシートを取っただけでフロアローしているところがいじらしい。

「女のコがチューニングカーに乗っていると意味もなくあおってくるひとがいるけど、やめてほしい。街中だろうがおかまじいしにくるんやもん。だつてわたし負けず嫌いだから、振り切ろうとしてムキになってしまいうんやもん」という佳子ちゃんの性格は、やっぱり、レーシングドライバークラスと云えるのかも。もちろん負けん気だけでやっついていけるほど甘い世界じゃないけど、可能性に挑戦してみるのはいいことだ。マツキーも応援してくれることだし、T1チャレンジカップ頑張つてネ。



951 OP2